様式３（2015.06改）

作成日　令和２年２月１７日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500766
事業所名	グループホームとまり木名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、回覧板や民生委員から、行事の情報を得て、学区の敬老会、餅つき大会、福祉祭り、防災訓練などに出掛けている。 中学生の福祉体験学習の受入れや、近隣の散歩に出掛けて挨拶を交わしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	地域包括支援センター、民生委員、家族の出席を得て、年5回運営推進会議を開催している。 参加者から積極的な意見が出され、サービス向上に結び付いている。 参加者から「音楽療法を見てみたい」との要望があり、会議に合わせて音楽療法を行った。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	生活保護受給者の関係で区の保護係とは密に連携を図り、信頼関係は構築されている。 地域包括支援センターから入所相談があったり、区に出向くこともあり、区の窓口にはホームの状況は随時伝わっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	運営推進会議時やホームに直接意見が出され、積極的に取り入れている。 「刺し子をさせたい」との家族の希望があり、利用者が針を管理して作品作りを始めた。 家族からは、「家庭的」との言葉が聞かれる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×